

「ワクワクする企業創り」

～EMEの取り組み～

「ワクワクする企業創り」とは？

あなたは「ワクワクする企業」を目指しますか。

「ワクワクする企業創り」とは、EMEが追い求める“ワクワクする企業のあるべき姿”と、「ワクワクする企業」を目指すあなたへの“EME支援ポリシー”を整理したものです。

あなたも、EMEと一緒に「ワクワクする企業創り」に挑戦しませんか

EMEの支援姿勢

EMEの支援姿勢は、「企業が潜在的に持っている、成長に向けた“自然治癒力”を活用して、企業の変革を支援すること」にあります。

EMEは、「変革プロジェクトの推進支援」「変革プログラムの実行支援」を通じて、“企業の学習能力”を高めます

EMEの、[企業における“自然治癒力＝問題解決能力”を引き出す]技術（ファシリティ技術）をご活用ください。

ローマは 1日にして成らず
“少しずつ常に変革”が重要です

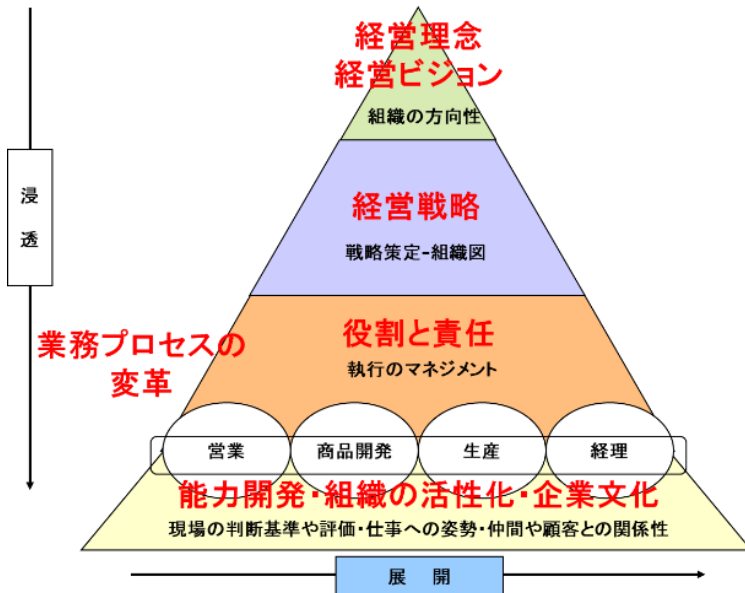
浸透と展開の一貫性

経営のフレームワークを考えると、EMEが、最も大切にしている考え方です。

“**浸透**”とは、経営者および経営幹部の考え・行動と一般社員の考え・行動が一致していること。

“**展開**”とは、企業の考え・行動に、部門間・社員間のバラツキがなく、全社で一致していること。

「**浸透と展開の一貫性**」があって、はじめて、「**全社一丸となってワクワクする企業創り**」ができるのです。

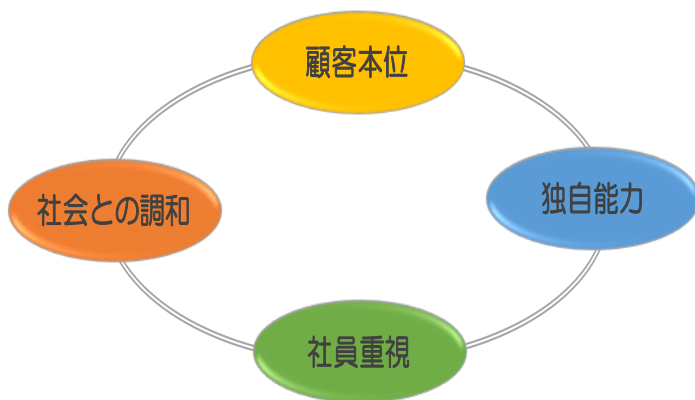


経営理念の構築

「浸透と展開の一貫性」を具現化するためには、企業の基軸となる「企業の存在意義」（何のために、我が社があるのか）が明確でなければなりません。

我々は、「企業の存在価値」を“経営理念”と定義して、「企業の有り様（考え方・姿勢）」を決めるものと考えています。

経営品質向上プログラム(注1)では、経営理念の方向性を“顧客本位”“独自能力”“社員重視”“社会との調和”と示しています。

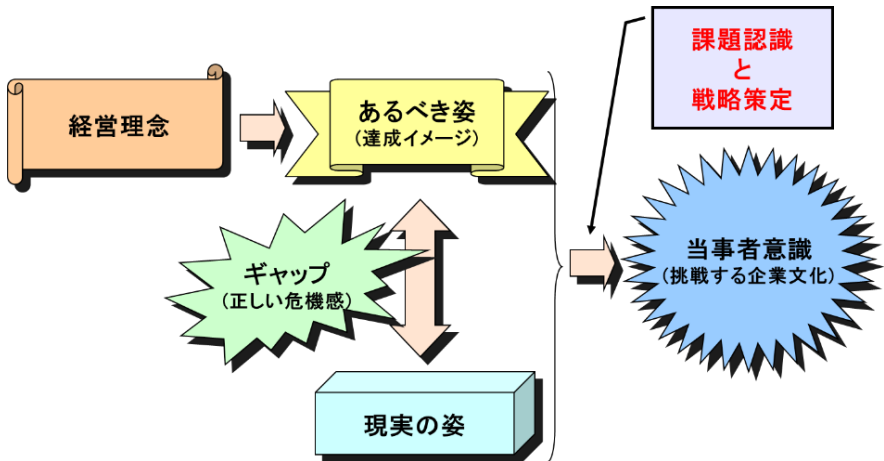


※(注1)経営品質向上プログラムとは
顧客・競争（独自性）・社員・社会のすべてにおいて、高い価値を作り出すために、「革新し続ける経営創り」を支援する一連のプログラムをいいます。

変革モデルの認識

企業の変革においては、“現実の姿”の客観的な分析と、経営理念から導かれる企業の“あるべき姿（経営ビジョン）”を描き、“現実の姿”とのギャップ認識から、“経営課題”を具現化する姿勢が重要です。

そして、経営課題を解決するために、“経営戦略”と“実行プログラム”が構築されていくのです。さらに、「全社一丸となってワクワクする企業創り」に取り組むためには、「浸透と展開の一貫性」の背景となる、社員自らが変革に取り組む“当事者意識の醸成”が欠かせません。

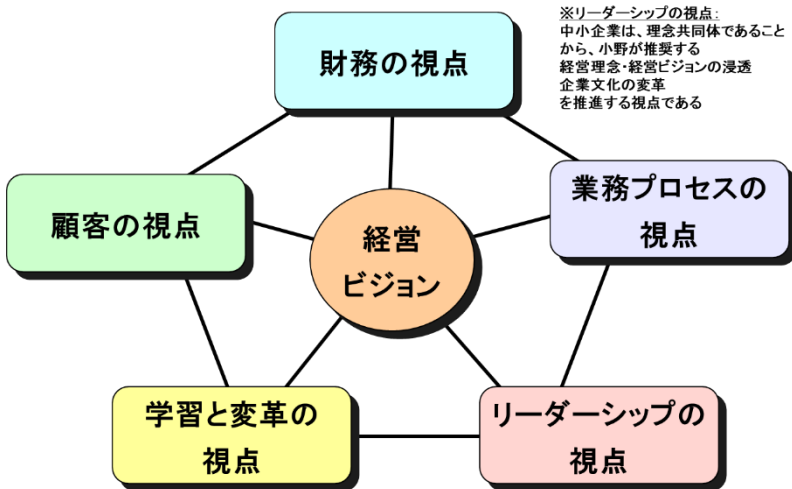


経営戦略モデルの活用

“経営課題”を抽出し、“経営戦略”を構築する視点として、「**バランス・スコアカード**」の考え方を活用することは非常に有効です。「バランス・スコアカード」とは、“**経営ビジョン**”を実現するために、“**財務的な視点**”に偏ることなく“**顧客との関係性の視点**” “**業務プロセス(独自能力を発揮する仕組)の視点**” “**人財および組織能力の視点**” から“**戦略課題**” “**経営戦略**”を明らかにする考え方です。

EMEでは、経営者のリーダーシップが、特に重要である“**中堅中小企業**の特性”を踏まえて、バランス・スコアカードの4つの視点に、“**リーダーシップ(理念・ビジョン・戦略の浸透)**”の視点を加えています。

バランス・スコアカードの4つの視点+リーダーシップの視点



変革に向けた企業の状態

“経営戦略”を構築して、“実行プログラム”を策定しても、積極的に取り組む企業とほとんど取り組まない企業があります。EMEでは、“変革に向けた企業の状態”を企業の「成熟度」と呼び、DレベルからAレベルであらわしています。

企業の「成熟度」を診断する軸となる視点を、①経営理念・経営ビジョンの浸透（トップのリーダーシップ）②顧客本位③独自能力④人材育成 と考え、さらに、4つの視点から、8つの要素を抽出して、「成熟度」の評価基準としています。

レベル	定義	イメージ
Aレベル	【体系的な革新プロセスの導入】 ・提供すべき価値を戦略的に考え、行動している	
Bレベル	【基礎的な革新プロセスの導入】 ・過去の枠組みに基づく改善から革新へ向かい始めている	
Cレベル	【起きてしまった問題への対処】 ・過去の枠組みの中で、改善行動がおこなわれている	
Dレベル	【問題意識の欠如】 ・改善に向けた取り組みが見られない	

Dレベルの企業が、一朝一夕でAレベルの企業にはなりません。

一つ上のレベルを“あるべき姿”としてとらえて、一歩ずつレベルアップすることが重要と考えています。

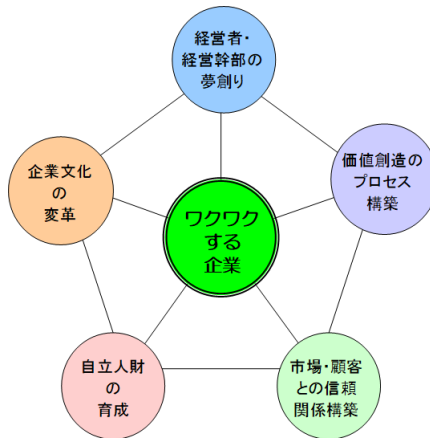
4つの視点	8つの要素
経営理念	経営者のリーダーシップ
経営ビジョンの浸透	社会に認められる経営理念 経営ビジョン・戦略目標の設定と実行プロセス
顧客本位	卓越した顧客価値の創造
独自能力	独自能力の構築と外部ネットワークの活用 日々変革する組織創り
人材育成	経営者及び未来を担う人創り 熱気のある企業文化の創造

※成熟度チェックリストは、100年企業創り合同会社と共同開発した診断・支援メニューです

EMEが追い求める企業像

- ◎ ワクワクする企業とは、会社にも、社員にも夢のある企業です。
- ◎ ワクワクする企業とは、夢と夢が融合して、大きな付加価値を生む企業です。
- ◎ ワクワクする企業とは、社会から尊敬される企業です。

ワクワクする企業の5つの特徴



EMEでは、中堅中小企業における「経営者と社員と社会がワクワクする企業」創りを支援します

詳しくは QR コードを
読み取ってください
ホームページにアクセスできます



イーエムイーコンサルタンツ株式会社

〒530-0037

大阪市北区松ヶ枝町 6-17 第7 新興ビル 401 号

TEL 06-6809-7681 FAX 06-6809-7682

<https://www.emejp.com>

info@emejp.com